

平成25年度第2回保健センター運営協議会

日時：平成26年3月13日（木）

午後1時30分から

会場：日進市保健センター2階会議室

1. あいさつ

2. 議題

(1) 平成25年度保健事業実施状況について

- ① 母子保健事業 資料NO. 1
- ② 予防接種事業 資料NO. 2
- ③ 成人保健事業 資料NO. 3
- ④ いきいき健康プランにしん21推進事業 資料NO. 4
- ⑤ 第2次いきいき健康プランにしん21 資料NO. 5
- ⑥ 保健センター管理運営事業

～にしん体操～（もっとスローテンポ版）

(2) 平成26年度保健事業計画（案）について

- ① 保健事業計画 資料NO. 6
- ② いきいき健康プランにしん21推進事業 資料NO. 7
- ③ 主要な事業の概要 資料NO. 8

(3) その他

平成25年度日進市保健センター運営協議会委員名簿

氏 名	職 名
大野 香代子	愛知県瀬戸保健所長
岩崎 聖雄	医師
土岐由香理	医師
坂 徹男	歯科医師
東 公彦	歯科医師
森 道成	薬剤師
坂野 紘	保健センター診療管理者
田中 八隆	日進市社会福祉協議会長
伊東 利	あいち尾東農業協同組合日進地域総括理事
岩月 ミサヲ	日進市地域女性団体連絡協議会長
塚本 有里	学識経験者
市川 みどり	学識経験者
中野 公子	公募市民

平成25年度母子保健事業実施状況（見込み）

* 健診事業の左欄は受診数、中欄は対象数

単位：人

事業名		25年度			24年度			
健 康 診	3 ～ 4 か 月 児	973	980	99.3%	1,045	1,052	99.3%	
	1 歳 半 児	1,007	1,022	98.5%	1,015	1,033	98.3%	
	2歳児 歯 科	2歳2か月児	820	1,061	77.3%	809	1,013	79.9%
		2歳8か月児	739	1,066	69.3%	712	959	74.2%
	3 歳 児	963	1,007	95.6%	953	986	96.7%	
査	妊婦（医療機関委託） 件	12,546			12,688			
	乳児（医療機関委託） 件	1,650			1,657			
	妊婦乳児健診県外助成 件	妊婦/乳児	633/86		妊婦/乳児	694/99		
	妊 産 婦 歯 科 （ 医 療 機 関 委 託 ）	377			402			
	一 般 不 妊 治 療 費 助 成	81			87			
健 康 教 育	母子健康手帳交付（冊）	1,032			1,031			
	ミニママクラス	499			506			
	マタニティ 教室	前 期	117		121			
		後 期	147		146			
	パ マ マ マ 教 室	302			296			
	祖 父 母 の た め の 赤 ち ゃ ん お フ ロ 教 室	72			36			
	ブ ッ ク ス タ ー ト	973			1,046			
中 学 生 乳 幼 児 ふ れ あ い 体 験 事 業	親子84組/生徒305人			親子58組/生徒369人				
健 康 相 談	10 か 月 な か よ し 相 談	495	1,007	49.2%	483	1,073	45.0%	
	乳 児 相 談 （ 赤 ち ゃ ん 教 室 ）	110			126			
	幼 児 相 談 （ ち び っ こ 教 室 ）	パンダグループ	156（37）		453（61）			
		コアラグループ	147（38）		463（74）			
		うさぎグループ	163（36）					
		りすグループ	132（27）					
	こ と ば の 相 談	74			77			
	か る が も キ ッ ズ （ 組 ）	31			40			
	赤 ち ゃ ん 電 話 相 談 （ ビ ヨ ビ ヨ コ ー ル ）	377			377			
	お ひ さ ま 広 場	1,791			2,470			
訪 問	新 生 児	628			633			
	そ の 他	児	117（うち未熟児訪問 15）		130			
		親	88		104			
	こ ん に ち は 赤 ち ゃ ん 訪 問	321			390			

平成25年度予防接種実施状況(見込み)

《個別》

事業名				25年度			24年度			
				対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率	
ヒブ	初回	1回	2~60か月	1,115	996	89.3	任意接種 (緊急促進事業にて実施)	-	4,314	-
		2回		1,083	976	90.1				
		3回		1,115	989	88.7				
	追加	1,524	1,312	86.1						
	計	4,837	4,273	88.3						
小児肺炎球菌	初回	1回	2~60か月	1,111	996	89.6	任意接種 (緊急促進事業にて実施)	-	4,512	-
		2回		1,087	991	91.2				
		3回		1,115	989	88.7				
	追加	1,154	1,064	92.2						
	計	4,467	4,040	90.4						
三種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風)	1期	1回	3~90か月	-	23	-	1,064	789	74.2	
		2回		-	76	-	1,063	856	80.5	
		3回		-	147	-	1,064	916	86.1	
		追加		1,030	1,016	98.6	1,142	1,113	97.5	
	計	1,030	1,262	-	4,333	3,674	84.8			
四種混合 (ジフテリア・百日咳・破傷風・ポリオ)	1期	1回	3~90か月	995	979	98.4	459	289	63.0	
		2回		993	966	97.3	459	208	45.3	
		3回		993	934	94.1	459	159	34.6	
		追加		-	40	-	0	0	-	
	計	2,981	2,919	※1 96.6	1,377	656	47.6			
ポリオ (不活化ワクチン)	1期	1回	3~90か月	-	83	-	2,005	1,069	53.3	
		2回		-	222	-	2,240	1,168	52.1	
		3回		-	341	-	2,430	1,324	54.5	
		追加		-	830	-	1,241	15	1.2	
	計	-	1,476	-	7,916	3,576	45.2			
DT 二種混合 (ジフテリア・破傷風)	2期	小学6年	968	872	90.1	926	827	89.3		
	計		968	872	90.1	926	827	89.3		
日本脳炎 ※特例対象者 (20歳未満)も計上	1期	1回	3~90か月	1,313	1,153	87.8	1,469	1,217	82.8	
		2回		1,333	1,163	87.2	1,516	1,272	83.9	
		追加		1,530	1,357	88.7	2,079	1,859	89.4	
	2期	小学4年	916	434	47.4	-	400	-		
	計		5,092	4,107	80.7	5,064	4,748	※2 85.9		
麻しん	1期	12~24か月	-	0	-	-	-	-		
	2期	就学前1年間	-	0	-	-	-	-		
	3期	中学1年生	-	-	-	-	-	-		
	4期	高校3年生相当	-	-	-	-	-	-		
	計		-	0	-	-	0	-		
風しん	1期	12~24か月	-	0	-	-	-	-		
	2期	就学前1年間	-	0	-	-	1	-		
	3期	中学1年生	-	-	-	-	-	-		
	4期	高校3年生相当	-	-	-	-	-	-		
	計		-	0	-	-	1	-		
麻しん・風しん 混合(MR)	1期	12~24か月	1,013	1,008	99.5	1,067	1,062	99.5		
	(再掲)	(1歳3か月未満)	-	(953)	-	-	(952)	-		
	2期	就学前1年間	1,011	960	95.0	997	962	96.5		
	3期	中学1年生	-	-	-	962	862	89.6		
	4期	高校3年生相当	-	-	-	860	772	89.8		
計		2,024	1,968	97.2	3,886	3,658	94.1			
子宮頸がん (HPV)	1回	小学6年生から高 校1年生相当の女 子	1,144	37(4)	3.2	任意接種(緊急促進事業にて実施)	-	1,590	-	
	2回		1,159	32(3)	2.8					
	3回		1,196	45(4)	3.8					
	計	3,499	114(11)	3.3						
BCG	6か月未満(25年度は1歳未満)		868	859	99.0	1,021	1014(*8)	99.3		
	計		868	859	99.0	1,021	1,014	99.3		

《集団》

事業名			25年度		24年度		
ポリオ(生ワクチン)	回数		実施なし	6回			
	1回	3~90か月		対象者数	接種者数	接種率	
	2回	3~90か月		340	174	51.2	
	計			400	376	94.0	
		計	740	550	74.3		

- ・要注者については公立陶生病院等に委託
- ・四種混合の接種率(※1)は1期分のみ計上
- ・日本脳炎は、接種機会を逃がした平成7年4月2日から平成19年4月1日生まれの者に対する特例措置が平成23年5月より開始
- ・平成24年度日本脳炎合計の接種率(※2)は1期分のみ計上
- ・HPVは平成25年6月より積極的勧奨の指し止めとなる。()はサーバリックス接種者数を再掲し計上したもの
- ・HPVの平成24年度の対象は、中1相当から高2(平成23年度中に初回接種開始者)相当の女子
- ・四種混合は、平成24年11月より開始
- ・BCGは、平成25年度から接種対象者が生後6月未満から生後12月未満までとなる。平成24年度の(*)で表記される数は、生後6月から12月未満の接種者数を再掲

《成人》

事業名	年齢	25年度			24年度		
		対象者数	接種者数	接種率	対象者数	接種者数	接種率
高齢者インフルエンザ	65歳以上	15,406	8,220	53.4	14,615	7,914	54.1
	60~64歳	-	9	-	-	11	-
計	計	-	8,229	-	-	7,925	-

高齢者肺炎球菌ワクチン接種費用助成事業

事業名	年齢	25年度	24年度
肺炎球菌	70歳以上	599	630
	60~69歳	21	21
計	計	620	651

風しんワクチン接種費用助成事業

事業名	性別	25年度
風しん	女性	475
	男性	451
計	計	926

平成25年度 成人保健事業実施状況（見込み）

単位：人

事業名			25年度		24年度			
			回	延人数	回	延人数		
健康手帳交付	40歳以上			461		394		
	20歳～39歳			487		444		
※健康教育	一般		435	15,459	420	14,632		
	がん予防		19	924	18	898		
※※健康相談			344	5,486	313	4,925		
健康診査	特定健診（40～74歳、集団・個別）			5,510		4,671		
	後期高齢者健診（75歳～、個別）			2,566		2,317		
	生活保護受給者健診（40歳～、個別）			2		0		
	30代さわやか健診（集団）		5	678	4	606		
	骨粗鬆症検診（集団）		19	640	18	601		
	肝炎ウイルス検診（個別）			343		296		
	歯周疾患検診（個別）			1,274		1,158		
がん検診	肺	胸部X線検査	個別	6,566		6,023		
			特定健診併用	8	448			
		喀痰検査	個別		430		419	
			特定健診併用	8	27			
	胃	個別			3,872		3,808	
		集団		18	1,213	20	1,110	
	大腸	個別（1日法含む） （再掲：クーポン券利用者）			6,175 (716)		5,687 (679)	
		集団（1日法含む） （再掲：クーポン券利用者）		19	1,377 (248)	20	1,271 (231)	
	乳	個別	超音波		199		177	
			マンモグラフィ （再掲：クーポン券利用者）		1,438 (481)		1,369 (469)	
		集団 （再掲：クーポン券利用者）		19	924 (243)	18	897 (235)	
	子宮	個別 （再掲：クーポン券利用者）			2,628 (731)		2,602 (791)	
		集団 （再掲：クーポン券利用者）		22	1,043 (181)	20	1,003 (168)	
	前立腺		個別			2,625		2,445
	地区組織活動	食生活改善推進員活動支援 （うち市民参加人数）		14	752 (512)	21	779 (552)	
運動普及推進員活動支援 （うち市民参加人数）		79	2,140 (1,654)	32	814 (563)			
献血			3	174	3	201		

※健康教育
生活習慣病予防教室
健康診査実施後の結果説明会
特定保健指導
老人クラブ健康教育
がん予防教育
コミュニティサロン（6サロン）
（福祉会館協力事業）
地域サロン（10サロン）
地域出張健康教育
健康・福祉フェスティバル
食生活改善推進員研修会・運営
運動普及推進員研修会・運営
にっしん体操普及活動

※※健康相談
各種健康教室・相談開催時
栄養相談（管理栄養士）
骨粗鬆症予防健康相談
介護家族健康相談
老人クラブ健康教育時
高齢者こころ健康相談（電話・訪問等）
健康・福祉フェスティバル時
地域サロン（14サロン）
コミュニティサロン（6サロン）
（福祉会館協力事業）
地域出張健康相談
面接・電話相談

平成25年度 特定・後期高齢者医療健診、特定保健指導実施状況(見込み)

年齢区分	年度	健康診査			特定保健指導				実施率
		対象者数	受診者数	受診率	動機づけ支援		積極的支援		
					対象者数	実施者数	対象者数	実施者数	
40歳～74歳 (特定健康診査)	25	12,316	5,510	44.7	514	38	183	11	7.0
	24	11,826	4,671	39.5	437	44	164	16	10.0
	23	11,579	4,682	40.4	443	55	141	0	9.4
75歳以上 (後期高齢者健診)	25	7,194	2,566	35.7	-	-	-	-	-
	24	6,752	2,317	34.3	-	-	-	-	-
	23	7,096	2,041	28.8	-	-	-	-	-

平成23、24年度は法定報告に基づく

(保険年金課資料提供)

平成25年度 がん検診、歯周疾患検診実施状況(見込み)

種類	年度	対象者数	受診者数			受診率(%)			がん 発見数
			集団検診	医療機関	計	市	国の推計 受診率に 基づく市 の受診率	県平均	
肺がん検診 (胸部エックス線) (40歳以上)	25	18,099	448	6,566	7,014	38.8	-	-	-
	24	17,482	-	6,023	6,023	34.5	33.7	28.5	1
	23	16,924	321	5,774	6,095	36.0	34.1	27.9	7
胃がん検診 (40歳以上)	25	18,099	1,079	3,872	4,951	27.4	-	-	-
	24	17,482	995	3,808	4,803	27.5	26.8	16.0	8
	23	16,924	1,341	3,668	5,009	29.6	28.0	16.2	7
大腸がん検診 (40歳以上) 2日法のみ	25	18,099	1,154	6,130	7,284	40.2	-	-	-
	24	17,482	1,094	5,655	6,749	38.6	37.7	25.7	13
	23	16,924	1,458	5,404	6,862	40.5	38.3	25.6	13
乳がん検診: マンモ グラフィ (40歳以上)	25	12,471	924	1,438	2,362	18.9	-	-	-
	24	12,046	897	1,369	2,266	18.8	19.0	12.3	7
	23	11,678	988	1,353	2,341	20.0	19.6	12.2	9
子宮がん検診 (20歳以上)	25	17,167	1,043	2,628	3,671	21.4	-	-	-
	24	16,818	1,003	2,595	3,598	21.4	21.6	15.3	4
	23	16,473	1,082	2,612	3,694	22.4	22.2	15.1	1
※※ 前立腺がん検診 (50歳以上)	25	5,307	-	2,625	2,625	49.5	-	-	-
	24	5,126	-	2,445	2,445	47.7	-	-	13
	23	4,951	172	2,322	2,494	50.4	-	-	26
歯周疾患検診 (40、50、60、70歳)	25	4,511	-	646	646	14.3	-	-	-
	24	4,445	-	594	594	13.4	-	8.9	-
	23	4,380	-	615	615	14.0	-	6.3	-

- ・対象者数は、平成20年より国の算出方法(平成17年国勢調査数値で換算)に介護度4、5対象を減じて算出。
- ・※ 乳がん・子宮がん検診は隔年受診率(2年連続受診を除き算出)を下欄に計上。
- ・子宮頸がん検診が平成22年度妊婦健診追加項目となり、受診数に加算。
- ・※ ※前立腺がん検診は健康増進法外の事業(市独自事業)。

平成25年度 がん検診無料クーポン券利用実施状況(見込み)

	25年度			24年度		
	対象数	受診者数	受診率(%)	対象数	受診者数	受診率(%)
子宮頸がん検診	2,880	912	31.7	2,975	959	32.2
乳がん検診	2,819	724	25.7	2,717	704	25.9
大腸がん検診(2日法)	5,700	957	16.8	5,398	904	16.7

平成25年度いきいき健康プランにっしん21推進事業実施状況(見込み)

1 いきいき健康プランにっしん21推進委員会・ワーキンググループ研究会

(1) ワーキンググループ研究会

第1回 平成25年 6月27日(木) 会員19名出席

議題1) 平成24年度推進事業実施状況及び平成25年度推進事業実施計画(案)について

2) 日進市の現状について

3) グループディスカッション

どのような市を目指すかを言葉で表現してみよう

第2回 平成25年10月 3日(木) 会員18名出席

議題1) 第2次計画キャッチフレーズについて

2) 第2次計画体系図(案)について

3) グループディスカッション

重点取り組みに対して、具体的な取り組みをみんなで考えよう!

個人・家庭での取り組み、地域・関係機関・各種団体での取り組み、行政の取り組み

4) 今後のスケジュール

第3回 平成26年 3月 6日(木) 会員11名出席

議題1) 第2次計画の策定について

2) 平成25年度事業推進状況について

3) 平成26年度事業推進計画(案)について

4) にっしん体操大会について

(2) 推進委員会

第1回 平成25年7月29日(月) 会員15名出席

議題1) 平成24年度推進事業実施状況及び平成25年度推進事業実施計画(案)について

2) 日進市の現状について

第2回 平成25年12月17日(火) 会員16名出席

議題1) 第2次計画案について

2) 策定スケジュール案について

第3回 平成26年 3月18日(火) 開催予定

議題1) 平成25年度事業推進状況について

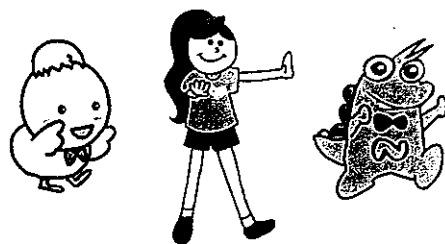
2) 第2次プラン案について

3) 平成26年度推進計画(案)について

2 にっしん体操

(1) 内容

1) 体操の周知・普及



対 象	延べ人数(人)	回数(回)	普及先例
子ども	1,430	3	幼稚園、小学校
高齢者	3,295	110	老人クラブ、コミュニティ・地域サロン、デイサービス、介護予防教室
一般 (混合又は大人)	3,558	61	岩崎城春まつり・夢まつり、小学校教諭、市民まつり、イベント、講演会、防災訓練
合 計	8,283	174	

※健康課が把握しているもの又は主に行ったものを計上、他職員や団体などが独自で行ったものは除いています。

2) 解説音声入りにつしん体操の歌の作成

時期：平成25年7月から12月

内容：につしん体操の歌に体操の動きの解説音声をつけ録音、CDの作成

結果：12月から貸出・配布

3) 運動普及推進員の養成

時期：平成25年8月から平成26年1月まで

内容：生活習慣病についての講義や体操の実技指導等、全10回の講座を開催

結果：14名が講座を修了する。現在の運動普及推進員のフォローアップ研修も同時開催した。

4) 自主グループの立ち上げ・支援

時期：平成25年9月から平成26年2月まで

内容：①南ヶ丘地区ーロコモティブシンドローム予防の体操とにつしん体操の実施

②香久山地区ーラジオ体操とにつしん体操の実施

結果：地区役員やスポーツ推進委員・運動普及推進員の協力の下、①②共に地域住民主体でグループ運営を継続して実施

5) つしん体操の効果測定

時期：平成25年10月から平成26年3月まで

内容：継続して3か月程度体操を実施していただき、体操実施前・後の体や心理面のアンケートや身体計測を実施（測定事業については愛知学院大学へ委託）

結果：20歳代～70歳代までの25名が参加。柔軟性の向上や関節痛の減少等、参加者より様々な効果を感じたとの声が聞かれた。3月末に評価まとめを完成

3 ウォーキングマップ

(1) 実施内容

小学校区（8学区）にウォーキングマップ7種類を作成している。

今年度は、それらをまとめた市内全域版を作成し、計8種類が完成。

作成時期	内 容
平成22年度	相野山小学校区、梨の木小学校区の2コース作成
平成23年度	南小学校区、北小学校区の2コース作成
平成24年度	東小学校区、赤池・西小学校区の2コース作成
平成25年度11月 26年2月	につしん健康の道・香久山ウォーキングコースのマップをリニューアル ヘルピーウォーキングマップ全域版の完成

(2) 普及・啓発

- ・広報（9月15日号、3月号）、ホームページに掲載
- ・健康福祉フェスティバルにて、相野山、梨の木、南、北、東、赤池・西コースの各ウォーキングマップを周知・啓発し、希望者にマップを配布する。
- ・保健センター、市役所情報公開窓口、福祉会館等の公共施設にて配布する（配布場所の増加）。
- ・保健センター内香久山コース案内看板の改修（平成26年3月）

4 健康づくり市民サポーター事業について

(1) 実施内容

健康課で開催する教室等で、健康づくりに関する活動に取り組んでいる個人・団体が申請し、「にっしん健康づくり市民サポーター」として市が認定・登録するもの

(2) 平成26年2月末現在までの登録者数

団体 3団体
個人 143名



5 たばこ対策

(1) 取り組み内容

1) 健康福祉フェスティバル

禁煙相談 3名（瀬戸保健所）、相談機関紹介、パネル展示、タールサンプル展示
健康チェック「血液サラサラチェック」62名、「口腔内カメラによる歯科診査」13名、「唾液による元気度チェック」104名（歯科医師会）、「肌年齢チェック」219名、
「スモーカーライザー」12名（瀬戸保健所）

2) 受動喫煙防止対策実施施設認定制度の紹介

平成26年2月末 157施設 平成24年度より、7施設の増加
8月の区長会にて、地域の公民館や集会所を対象に制度の紹介と申請案内をする。

3) 禁煙体験談の募集

平成24年度より募集開始する。平成25年度は、12名の提出あり。

- ・体験談募集チラシを1歳半児健診の案内に同封
- ・新設された公共機関、新規開業の医療機関に申請勧奨
- ・8月の区長会にて体験談募集の案内し、公民館にチラシ設置依頼
- ・9月にチラシを市内区及び自治会に回覧

4) 禁煙体験談集の作成

提出のあった体験談をまとめた「みんなの禁煙体験談」を作成し、健康福祉フェスティバルや保健センター窓口等で配布する。

5) 普及・啓発

- ・ヘルピー健康だより「受動喫煙防止と禁煙について」発行。健康福祉フェスティバル、保健センター窓口にて配布。
- ・広報平成26年3月号保健センター情報に、「COPD（慢性閉塞性肺疾患）」、「受動喫煙防止対策実施施設」について掲載する。

6 こころの健康づくり

(1) 内容

- 1) 「にっしんこころがホッとする言葉」の普及…広報・市ホームページ・保健センターガイド封筒・各種リーフレットなどに掲載、健康フェスティバルにて周知
「にっしんこころがホッとする言葉」を掲載したポケットティッシュの作成・配布
- 2) にっしん体操の普及
- 3) 高齢者こころの健康推進事業…精神保健福祉士による電話相談
- 4) 日進駅（9/11）、赤池駅（3/6）にて福祉課と合同で自殺予防街頭啓発キャンペーンにてポケットティッシュの配布
- 5) こころの健康講演会（3/6）の実施
- 6) 厚生労働省『働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「こころの耳」』のホームページへの外部リンク掲載

7 栄養・食生活

(1) 地域栄養教室の開催

市内保育園や健康課事業（おひさま広場、がん検診等）にて「朝食について」の健康教育を計4回実施

(2) 幼児食教室の開催

食に関する相談を希望する未就園児を持つ保護者とその子どもに対し、講義と調理実習を実施

8 生活習慣病

(1) 内容

1) がん検診キャンペーンの実施

①啓発

のぼり旗（大、小）を作成し保健センターに設置、ミニのぼり旗は公共施設や医療機関に設置
がん検診の実施方法チラシを封入したポケットティッシュの作成
がん制圧月間期間中に、大腸がんについての情報を掲載したポスターやトイレトペーパーを公共施設等に設置

②集団特定健診実施日に希望者に対し、肺がん検診を実施

2) 特定健康診査において、集団特定健診の実施回数を増やす

9 健康・福祉フェスティバルについて

(1) 日時：平成25年11月10日（日）午前9時～午後3時

場所：スポーツセンター1階エントランス、第3競技場

(2) 内容

【食育】

「豆つまみゲーム」583名、災害時の料理レシピ配布270名（管内栄養士会）

「やさいボックス」（ブックボックス）、「お肉パズル」、「魚つり」153名（名古屋学芸大学）

「腹囲・握力測定115名、大腸がんクイズラリー300名、食事量の周知等」（とにとクラブ）、

「食育クイズなど」330名（食生活改善推進員会）

【運動】

「にっしん体操」87名（運動普及推進員）※市民まつりメインステージでも、体操作成者の佐藤るみ氏による披露を行う。

「ウォーキングマップ」54名（日進ウォーカーズ）

【健康チェック】

「血液さらさらチェック」62名、「体組成測定」98名、「骨振動測定」184名、「足裏画像チェック」132名、「アルコール体質判定」93名、「口腔内カメラによる歯科診査」13名、「唾液による元気度チェック」104名（歯科医師会）、「脳年齢測定」85名（薬剤師会）、肌年齢チェック219名、「スモーカーライザー」12名（瀬戸保健所）

【心の健康づくり】

「にっしんこころがホッとする言葉」ポスター掲示、ポケットティッシュの配布

【いきいき健康プランにっしん21周知活動】

「10年後の自分へ健康宣言」299名、他、ポスター掲示、ヘルピー健康おみくじの実施

【相談】

「禁煙」3件（瀬戸保健所）、「物忘れ」47件、「薬」9件（薬剤師会）、「栄養」12件（管内栄養士会、とにとクラブ）

【たばこ対策】

相談機関紹介、パネル・タールサンプル展示、禁煙体験談集・ヘルピー健康だより（受動喫煙防止、COPDについて）の配布

10 ヘルピー健康だより

(1) 内容

1) 作成

- ・第1回 4月 いきいき健康プラン推進事業について
事業名 保健センターガイド 配布 35,000部
- ・第2回 7月頃 乳がんセルフチェックについて (A4 1枚)
事業名 30代さわやか健診結果に同封 678名
1歳半・3歳児健診案内通知に同封 1,176名
- ・第3回 9月頃 がん検診について (A4 両面1枚)
事業名 市内の区及び自治会に回覧 2,464部
- ・第4回 11月頃 受動喫煙の防止と禁煙について (A4 両面1枚)
事業名 健康福祉フェスティバル時に配布
- ・第5回 11月頃 「のばせ健康寿命！」リーフレット作成 (A3 両面1枚)
事業名 健康福祉フェスティバルに配布。市内公共施設、スポーツ施設、福祉会館の窓口に設置。
- ・第6回 2月頃 ヘルピーウォーキングマップについて (A3 ポスター、A4 1枚)
事業名 公共施設、スポーツ施設、福祉会館の窓口に設置
- ・市ホームページにて、第2回・第3回・第4回発行分を掲載する。

2) 配布

- ・10月頃 歯周疾患について (A4 1枚)
事業名 節目歯科健診受診勧奨案内 5,598部



ひ：左手（左ききの人は右手）をそえて
よ：よくかんで
こ：（ごはんとおかずを）こうごに食べようね!!

1.1 地域・職域連携事業

商工会と連携し、岩崎城春まつりや日進のんびりサイクリング、にっしん夢まつりにてにっしん体操の周知

保健所と連携して、受動喫煙防止対策実施施設への登録を勧める

1.2 その他

(1) 感染症対策

手洗い・うがい啓発ポスターを作成し、公共機関、幼稚園、小中学校等に配布

(2) 子どもの急病時・事故時の対策

「こどもの救急ハンドブック」を新生児訪問及びこんにちは赤ちゃん訪問等で配布

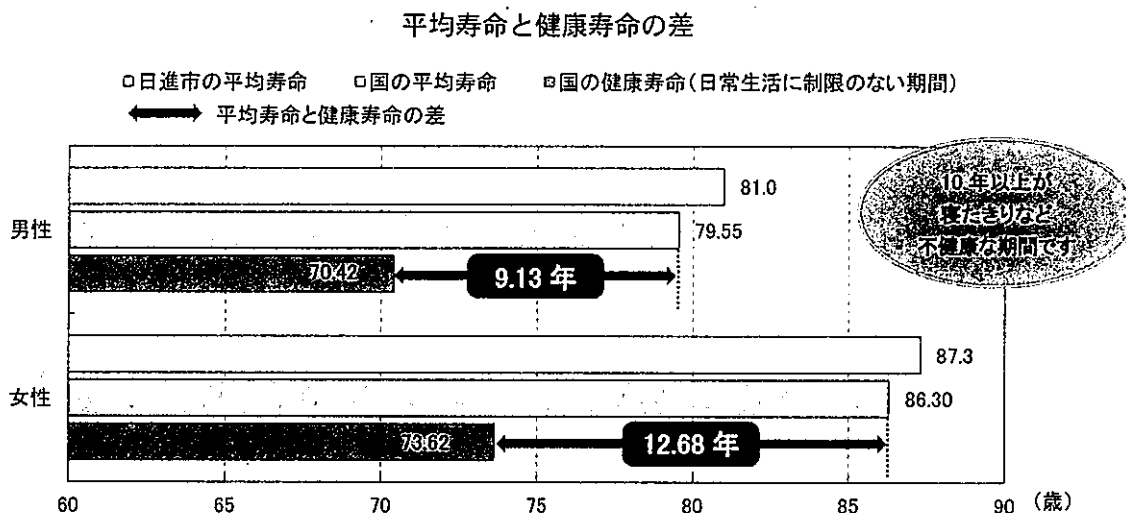
第2章 日進市の健康をとりまく現状と課題

4 日進市の特性や課題

これまでの本市の現状から、特性や課題をまとめました。

(1) 平均寿命は、県内トップクラス（男性1位、女性2位）

平均寿命は、県内で男性1位、女性2位とトップクラスです。国の平均では10年ほどの日常生活に制限のある期間があります。平均寿命と健康寿命の差を小さくすることが課題となります。



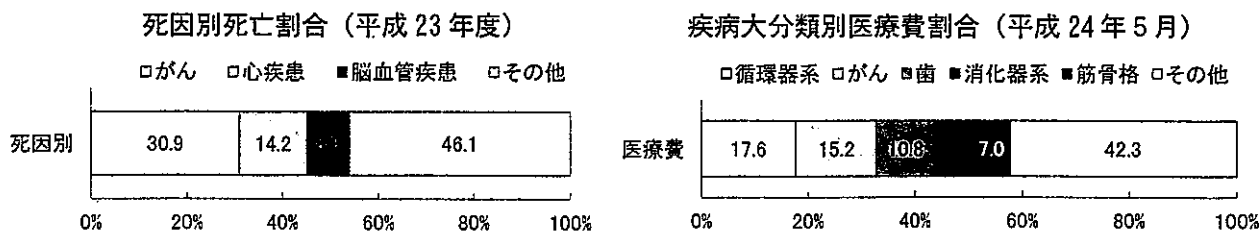
資料：平均寿命（平成22年）は厚生労働省「平成22年完全生命表」、日進市は「平成22年市区町村別生命表」、健康寿命（平成22年）は厚生労働科学研究「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」

(2) 生活習慣病の発症予防・重症化予防が重点課題

死因別死亡割合をみると、がん（30.9%）、心疾患（14.2%）、脳血管疾患（8.8%）などの生活習慣病が5割を超えています。また、疾病大分類別医療費の状況からも、循環器系疾患（17.6%）、がん（15.2%）で3割を占めています（平成24年5月診療分）。

また、要介護認定者数は、増加傾向にあり、脳血管疾患などの生活習慣病を防ぐことが介護予防対策として重要です。（30～31頁参照）

このため、健康長寿を達成するためには、生活習慣病の発症予防・重症化予防が重点課題となります。



資料：愛知県衛生年報、疾病分類統計表

(3) 生活習慣の改善（特に、栄養・食生活、身体活動・運動）が重点課題

生活習慣病の発症を予防するためには、栄養・食生活、身体活動・運動の生活習慣の改善が重要で大きなウエイトを占めます。

市民アンケート調査によれば、栄養・食生活について、食に対する関心や改善意欲は増加傾向ですが、食に関する知識の普及が十分とはいえず、行動に結びついていない人が多いため、正しい食生活を実践できるためのアプローチが必要です。

また、身体活動・運動については、運動習慣がある人は、成人で3割弱と少なく、特に、20～40歳の女性は実践できていないことから、運動を始めとした身体活動の増加をすすめていく必要があります。

(4) にっしん体操の取り組み

第1次計画期間において、にっしん体操を普及させる事業を展開し、保育園・幼稚園、学校、職場、高齢者施設と幅広い年代に普及活動を行ってきました。その結果、イベントでの実施はもとより、自主的、継続的に市民が取り組むグループもできてきました。

このように、まちぐるみの取り組みに展開することで、有効的な健康づくり活動の推進が可能となることから、一層、まち全体で健康づくりに取り組む姿勢を打ち出すことが必要と考えます。

《にっしん体操の取り組み状況（平成23年10月～平成25年9月末）》

○広報

- ・新聞、テレビ局、にっしんテレビ、ポスター、リーフレット、広報、ホームページにて周知
- ・DVD・CDを作成し、配布または貸出、動きのイラストや体操解説書を作成し配布
- ・体操指導者養成教室の実施

○イベントの開催

- ・各種まつり、ウォーキング大会、防災訓練などで実技講習
(約440回実施し、延べ25,000名に普及)

○実施場所

- ・市立保育園・幼稚園・小学校・介護保険事業所・老人クラブ・各福祉会館・各種健康教室・地区防災訓練等
(自主的な取り組み例：おはよう香久山、ゆったり工房通所者、あゆみ通園者)

(5) 推進方法

第1次プランでは、アンケートによる市民意識が目標指標の中心となっていました。第2次プランでは、客観的で、収集しやすいデータを用いた目標設定、評価の仕組みをつくる必要があります。

また、推進にあたっては、まちをあげての取り組みとするため、市民との協働の取り組みが一層必要になると考えられます。

第3章 計画の基本的な考え方

1 基本理念と基本方針

本市の平均寿命は、県内トップクラス（男性1位、女性2位）で、高齢化率（65歳以上の人口比率）は18%を超えました。今後さらに高齢化が進展し、特に75歳以上の後期高齢者の急増が見込まれることで、病気を発症する人や介護負担がますます増加することが予想されます。こうした中、健康で生きがいを持って心豊かに自立した生活を送るために、「健康寿命」を延伸させることが極めて重要であり、さらには、地域差や経済的な理由による「健康格差の縮小」や「生活の質の向上」も重要な要素となってきます。

第1次プランでは、「健康づくりは、まず自分に気づくことから始まります」を基本理念に、市民一人ひとりが、健康的な日常生活を送るため、自ら主体的に行動できることを目指して取り組みを進めてきました。

第2次プランでは、第1次プランをさらに進め、個人の力に加えて、地域をはじめとするさまざまな社会の環境づくりに努め、社会全体で健康を支え、全ての市民が心豊かでその人らしい人生を送ることができるよう取り組みを推進していきます。

このような背景のもと、第2章でまとめた本市の現状と課題を踏まえ、第2次プランでは、基本理念を以下のように定め、その実現のために3つの基本方針を掲げ、健康づくり施策を進めます。

(1) 基本理念

市民が共に支えあい、健やかで心豊かに長生きができるまちを目指して
～健康寿命の延伸と健康格差の縮小～

●○キャッチフレーズ○●

“日”々“進”めよう 一歩ずつ！ 健康なまち、にっしん

(2) 基本方針

基本方針1 生活習慣病の発症と重症化を防ごう！

がん、循環器疾患、糖尿病及びCOPD等の生活習慣病の発症を予防するため、食生活改善や運動習慣の定着等による一次予防対策を進めるとともに、合併症予防・症状の進展等の重症化予防に重点を置いた対策を推進していきます。

基本方針2 健康な生活習慣を実践しよう！

全てのライフステージにおいて健康を維持向上（保持増進）するためには、子どもの頃からの健康な生活習慣の基礎づくりや親と子の健康づくりに取り組むとともに、栄養・食生活、身体活動・運動、休養・心の健康づくり、歯等の健康に関する生活習慣の改善が重要です。

市民自らが主体となり、生涯を通じた健康づくりに取り組めるよう推進していきます。

基本方針3 健康を支える社会環境を実現しよう！

個々の健康は、家庭、学校、地域、職場等の社会環境の影響を受けることから、ソーシャルキャピタルの醸成による、地域や社会の絆を深め、社会全体で個人の健康を支え、守るための環境づくりを推進していきます。



2 計画の推進の視点

(1) 取組課題ごとの目標設定と評価

健康づくりは、子どもから高齢者まで生涯を通じて行うことが重要ですが、取組課題ごとに目標や健康の課題は異なっています。

第2次プランでは、「基本理念」の達成を目指すため、3つの「基本方針」を定め、その方針に基づき取組課題を整理しました。それらの課題のうち、基本方針1では、生活習慣病の疾患別取り組みである「がん」「循環器疾患」「糖尿病」を、基本方針2では、生活習慣のうち「栄養・食生活」「身体活動・運動」を、基本方針3では、「健康を支え、守るための環境づくり」を重点的に取り組む課題として定め、その他の課題とともに取り組みを推進します。

また、取組課題ごとに、第2次プランの計画期間に達成を目指す目標に対して、客観的で収集しやすいデータを用いた目標値を設定し、評価を行います。

(2) 市民参加による推進

市民参加による市民主体の健康づくりを推進していくために、各種の健康づくり事業を通して市民の自主的活動を支援します。市民が身近な場所で健康づくり活動に気軽に参加して、仲間や地域とのつながりを持つことは、健やかな地域づくりに役立ちます。

第1次プラン期間中において、「にっしん体操」を普及させる事業を展開し、市民が自主的に取り組む姿を通じて、市民参加で健康づくりを推進することの有効性を再認識しました。自分ができる健康づくりに主体的に取り組み、さらにそれを家庭や地域へ広めることで、地域ぐるみの健康づくりに発展することが期待できます。

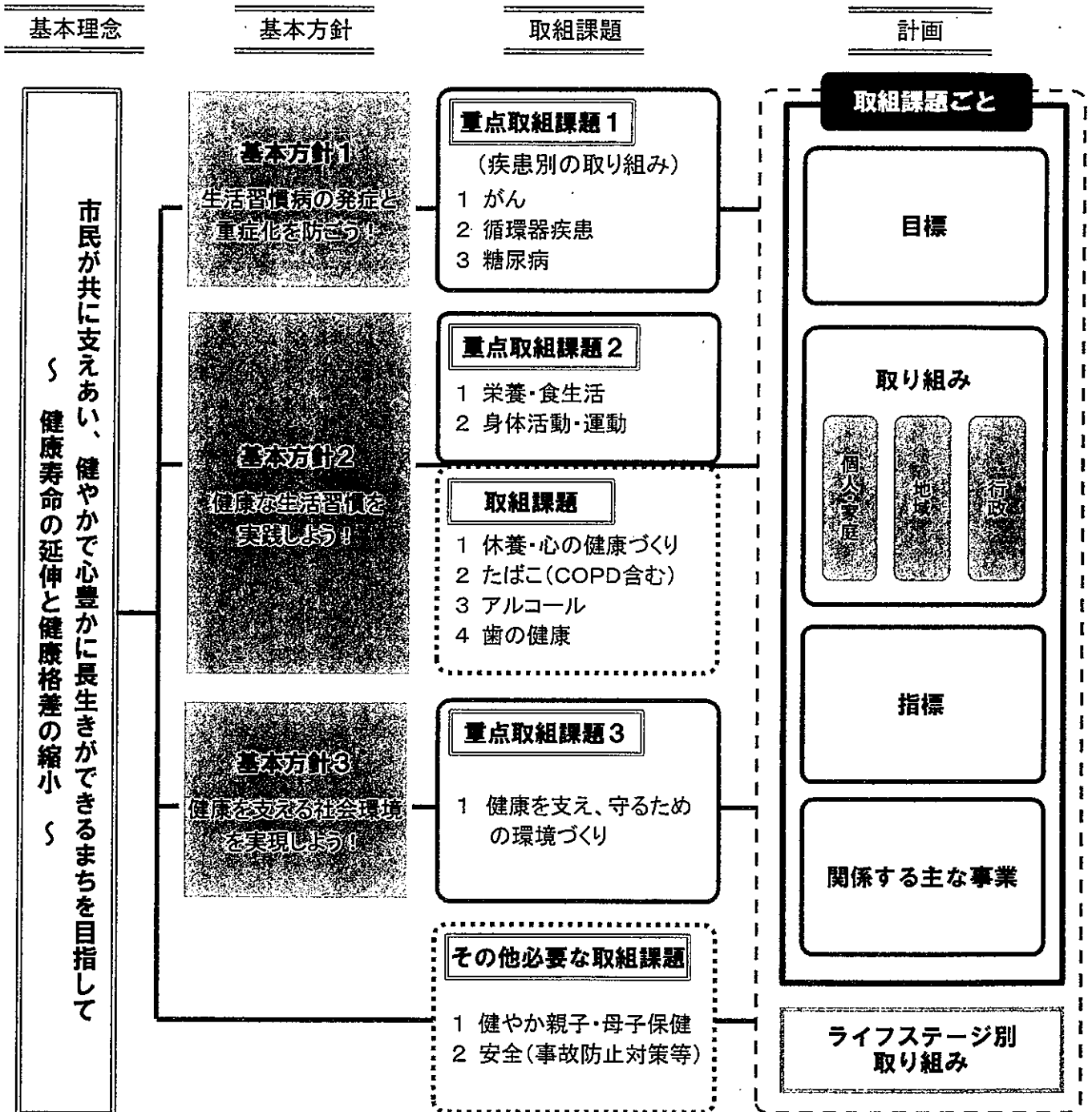
また、第1次プランは、市民参画の「いきいき健康プランにっしん21推進委員会」及び「いきいき健康プランにっしん21ワーキング研究会（ネットワーク研究会と職員研究会の合同開催）」により、策定・推進・評価が活発に進められてきました。第2次プランにおいても、引き続き市民参画のもと、さらに体制を強化し、策定・推進・評価を行います。

(3) ライフステージ別取り組み

健康的な生活習慣の形成や改善に向けた課題は世代ごとに異なっており、子どもから高齢者に至るそれぞれのライフステージにおいて、心身機能の維持及び向上に取り組み、誰もが日進市で健やかにいきいきと暮らせることを目指して、ライフステージ別の取り組みを推進します。

第4章 計画の推進

1 計画の体系



母子保健				事業名				
事業名	実施回数・月	対象者	事業名	実施回数・月	対象者	事業名	実施回数・月	対象者
健康診査	3～4か月児健診	年21回	3～4か月児	健康教育	母子健康手帳交付(ミニママクラス)	年36回	妊婦	
	1歳半児健診	年21回	1歳7～8か月児		マタニティ教室(前期・後期)	各年6回	妊娠8週以上	
	2歳児歯科健診(むし歯0教室)	年19回	2歳2か月児 2歳8か月児		パパママ教室	年8回(土)	初産婦とその配偶者	
	3歳児健診	年22回	3歳児		ブックスタート事業	年21回	3～4か月児と保護者	
	※1 妊婦・乳児健康診査	県内医療機関委託	妊婦14回・乳児2回		中学生乳幼児ふれあい体験事業	年1回	中学生、乳幼児と保護者	
	妊産婦歯科健康診査	市内歯科医療機関委託	妊産婦1回		祖父母のための赤ちゃんおフロ教室	年4回(土)	祖父母とその家族	
訪問	新生児訪問(助産師)	随時	生後2か月までの希望者	こんにちは赤ちゃん訪問研修会	随時	民生・児童委員、主任児童委員		
	こんにちは赤ちゃん訪問(民生・児童委員等)	随時	生後4か月未満児					
	未熟児等訪問指導(保健師等)	随時	低体重児等					
健康相談	10か月なかよし教室	年12回	10か月児	予防接種	ヒブワクチン	4～3月 医療機関委託	生後2～60か月未満児	
	乳児相談(赤ちゃん相談)	年12回	0～1歳8か月未満児		小児肺炎球菌ワクチン		生後2～60か月未満児	
	幼児相談(ちびっこ教室4クラス)	年48回	幼児健診事後		4種混合(IPV-DPT)		生後3～90か月未満児	
	多胎児交流会(かるがもキッズ)	年4回	多胎児と保護者等		ポリオ(不活化ワクチン)		生後3～90か月未満児	
	ことばの相談	年24回	就学前の幼児		3種混合(DPT)		生後3～90か月児	
	乳幼児計測日(おひさま広場)	年12回	乳児から就学前の幼児		2種混合(DT)		小学6年生	
	乳幼児電話相談(ピヨピヨコール)	年96回	乳幼児の保護者等		麻しん・風しん(MR)		生後12～24か月未満児 小学校就学前1年間	
	一般不妊治療費助成事業	通年	一般不妊治療を受ける夫婦		日本脳炎		生後6か月～20歳未満	
			BCG	生後12か月未満児(生後5～8か月未満)				
			子宮頸がん予防ワクチン	中学1年(小学6年～高校1年相当)				

※1 県外医療機関受診希望者は、健診受診費用の助成を実施。

予防接種：愛知県広域予防接種事業開始(4月1日から)

成人保健				事業名				
事業名	実施月	対象者	事業名	実施月	対象者	事業名	実施月	対象者
健康診査	30代さわやか健診	6月(5日間)	30歳～39歳	健康教育・相談	※5 特定保健指導	通年	特定保健指導対象者	
	※2 特定健康診査(集団個別)	7月～9月 6月～11月	40歳以上の市国保		健康教室	未定	一般市民	
	成人歯周疾患検診	通年	30歳～75歳 5歳間隔の節目年齢者		30代さわやか健診事後教室	7月	さわやか健診受診者	
	骨粗鬆症検診	通年	40歳以上の女性		食事相談(管理栄養士)	随時	一般市民	
	肝炎ウイルス検診(医療機関委託)	単独及び特定健診と併用	40歳及び要件該当者		健康教育・相談(各地域)	随時	老人クラブ・コミュニティサロン・地域サロン他	
					健康・福祉フェスティバル	11月	一般市民	
がん検診	胃がん検診(集団個別)	通年 6月～11月	30歳以上 40歳以上	こころの健康推進事業	通年	65歳以上の高齢者他		
	※3 大腸がん検診(集団個別)	通年 集団特定健診同日 6月～11月	30歳以上 40歳以上の市国保 40歳以上	健康を科学する	1月～2月	一般市民		
	※4 乳がん(マンモグラフィ)検診(集団個別)	通年(隔年検診) 6月～11月	40歳以上	食生活改善推進員養成研修	未定	一般市民		
	乳がん(超音波)検診(医療機関委託)	6月～11月	30歳～39歳	食生活改善推進員活動支援事業	随時	食生活改善推進員		
	※4 子宮がん検診(集団個別)	通年(隔年検診) 集団特定健診同日 6月～11月	20歳以上 40歳以上の市国保 20歳以上	運動普及推進員活動支援事業	随時	運動普及推進員		
	前立腺がん検診(集団個別)	集団特定健診同日 6月～11月	50歳以上の市国保 50歳以上	肺炎球菌予防接種助成事業	通年 秋頃から定期接種	70歳以上(一部60歳以上) 65歳及び要件該当者		
肺がん(胸部X線・喀痰)検診(集団個別)	集団特定健診同日 6月～11月	40歳以上の市国保 40歳以上	風しんワクチン予防接種助成事業	通年	県風しん抗体検査事業において免疫が不十分とされた女性			
手帳健康	健康手帳交付	随時	20歳以上	高齢者インフルエンザ(季節性)	10月～1月	65歳以上/60～64歳で特定の疾病により障害のある者		
訪問	訪問指導(保健師等)	随時	一般市民					

※2 特定健康診査は主管課の保険年金課に協力して実施
生活保護者の健康診査は、特定健診に準じて実施する

※3 がん検診推進事業(大腸がん検診)
無料クーポン券と検診手帳を郵送し、希望者に検査キットと問診表を交付する。対象は40歳～60歳の5歳間隔

※4 働く世代の女性支援のためのがん検診推進事業
①受診勧奨の実施
対象は子宮がん20歳～40歳、乳がん40歳～60歳の5歳間隔

②無料クーポン券の交付
対象は子宮がん20歳及び22歳～40歳のうち平成21年度から24年度までに配布を受けたが未利用の人、乳がん40歳及び42歳～60歳のうち平成21年度から24年度までに配布を受けたが未利用の人

※5 特定健診と調整して実施する

※6 (仮称)健康都市宣言、にっしん体操大会等

※7 新型インフルエンザ行動計画策定等

保健企画		
事業名	実施月	対象者
※6 第2次いきいき健康プランにっしん21推進	通年	市民
献血	4・8・12月	16～69歳
※7 感染症予防・災害時保健活動事業	通年	市民
保健センター管理運営	通年	

- 1 市内医療機関に係る各事業については、保健衛生会議において審議し決定する
- 2 各種保健事業については、関係機関等と協議し決定する
- 3 派遣依頼のある事業については、その都度協議し決定する

平成26年 1 月16日

市町村の枠を超えた子どもの定期予防接種の実施について

公益社団法人愛知県医師会

今回、公益社団法人愛知県医師会は、愛知県、県内各市町村のご協力により、市町村の枠を超えた子どもの定期予防接種を以下の要領で進めます。

目的

市町村長が行う予防接種法（昭和23年法律68号。以下「法」という。）第5条に規定する定期の予防接種（以下「定期予防接種」という。）の実施医療機関の範囲を、愛知県内全域とすることにより、定期予防接種対象者の利便性を増し、感染症予防の手段である予防接種率の向上を図るとともに、被接種者の体調、薬の服用歴、アレルギー等の情報を把握している医師（以下「かかりつけ医」という。）が予防接種を実施することにより健康被害の防止を図ることを目的として、愛知県広域予防接種事業（以下「本事業」という。）を実施する。

実施時期

平成26年4月1日（火）

（名古屋市においては、準備でき次第、できるだけ早い月で参加）

実施地域

愛知県内全域

対象となる被接種者

- (1) 住民登録している市町村以外の市町村にかかりつけ医がいる者
- (2) 長期に入院治療を要し、住民登録している市町村で予防接種を受けることが困難な者
- (3) 里帰り出産、家庭内暴力等のため、住民登録している市町村以外での予防接種を希望する者
- (4) その他市町村長が対象者と認めた者

対象予防接種

子どもの定期予防接種

（法第2条に規定するA類疾病（別紙2参照）の予防に有効である予防接種とする。）

接種までの流れ

予防接種希望者は、住民登録している市町村の窓口で予防接種を希望する旨を申請し、愛知県広域予防接種連絡票、予診票等を受け取り、他市町村の接種協力医療機関に事前に予約を取って、接種していただきます。

接種協力医療機関

県内の接種協力医療機関については、現在、各地区医師会にお願いをして、取りまとめております。決定した接種医療機関は、愛知県医師会ホームページ（平成26年3月下旬開設予定）、市町村窓口にて確認できます。

平成26年度いきいき健康プランにっしん21推進事業計画（案）
＜主な事業について＞

（※）：平成26年度新規事業

1 会議

- (1) いきいき健康プランにっしん21推進委員会
3回開催予定
 - (2) いきいき健康プランにっしん21ワーキンググループ研究会
4回開催予定
- * 健康都市宣言文（仮称）の策定・承認（※）

2 **重点取組課題** 生活習慣病（がん・循環器疾患・糖尿病）

- (1) 健康診査やがん検診の受診率向上
 - ① 特定健診
 - ・ 集団特定健診の回数の増加 8回（平成25年度）→12回
 - ・ 個別と集団の選択性（※）
 - ② 30代さわやか健診
 - ③ がん検診
 - ・ がん検診啓発キャンペーン
 - ・ 集団特定健診と肺・前立腺・大腸・子宮がん検診の同時実施（※）

3 **重点取組課題** 生活習慣（栄養・食生活）

- (1) 食生活改善推進員の養成
- (2) 食育推進協力店登録の増加（※）

4 **重点取組課題** 生活習慣（身体活動・運動）

- (1) にっしん体操
 - ① にっしん体操大会・・・12月14日（日）市民会館大ホール（※）
 - ② 自主グループ立ち上げ・支援・・・2地区
 - ③ 健康づくりマスコットキャラクター着ぐるみ作成（※）
 - ④ 普及・・・出前講座・講習会等の継続、市ホームページ・広報等で体操効果等の周知の継続

* 「10分間保健指導」の中でにっしん体操を実施（学校養護教諭） 対象：小1・中1年生（※）

5 **重点取組課題** 健康を支え、守るための環境づくり

- (1) 健康都市宣言（仮称）（※）
市の健康施策を市民へ周知し、「第2次いきいき健康プランにっしん21」を推進する。
- (2) 食生活改善推進員の養成（再掲）
- (3) にっしん体操グループ立ち上げ・支援（再掲）

平成26年度

当初予算の概要 より

～ 未来へつなぐ「人」・「まち」・「社会」の健康づくり予算 ～

2-1 成人保健

一般成人健診事業

健康課

(がん検診事業・がん検診推進事業・成人歯周疾患検診事業【新規】)

事業費 165,453 千円

財 源 内 訳	国庫・県支出金	8,765 千円	主 な 経 費	報酬	2,850 千円
	地方債	千円		通信運搬費	1,594 千円
	その他	5,345 千円		委託料	159,782 千円
	一般財源	151,343 千円		その他の経費	1,227 千円

受けて安心 がん検診 明日の自分のために

対象年齢に該当する市民であればどなたでも検診を受けることができます。

◆がん検診推進の継続 事業費 161,548千円

働き盛りの世代に増加している大腸がんの早期発見のために、一定の年齢の人を対象にがん検診無料クーポン券と検診手帳を送ります。

また、節目の年齢に該当する人を対象に、各種がん検診の費用を半額にします。

そのほか、がん検診の受診促進のために、市民の目に見えるキャンペーン活動等で普及啓発を行います。

◆成人歯周疾患検診事業 事業費 3,905千円

歯周疾患の受診促進を図るとともに、歯周疾患の予防と口腔衛生の改善を図り歯の喪失を予防するため、節目の年齢に該当する人に市内指定医療機関において歯周疾患検診を実施します。

いきいき健康プランにっしん21推進事業

(にっしん体操推進事業)



健康課

事業費 1,457 千円

財源内訳	国庫・県支出金	千円	主な経費	謝礼	156 千円
	地方債	千円		委託料	800 千円
	その他	千円		備品購入費	350 千円
	一般財源	1,457 千円		その他の経費	151 千円

にっしん体操などを通じて健康づくりをすすめます

◆にっしん体操大会等の実施 事業費 1,107千円

にっしん体操を通じた健康づくりをすすめるため、子どもから高齢者を対象とした「にっしん体操大会」を実施します。また、体操の普及のための研修会や出前講習会を実施するとともに、体操を自主的に実施するグループの立ち上げ支援を行います。

◆「ヘルピー」着ぐるみの作成 事業費 350千円

健康づくりのマスコットキャラクターである「ヘルピー」の着ぐるみを作成し、イベント等で活用することにより、健康づくり事業を効果的にすすめます。

健康づくり事業

(仮称)健康都市宣言事業【新規】)



健康課

事業費 363 千円

財源内訳	国庫・県支出金	千円	主な経費	謝礼	141 千円
	地方債	千円		備品購入費	138 千円
	その他	千円			千円
	一般財源	363 千円		その他の経費	84 千円

日々進めよう 一歩ずつ! 健康なまち、にっしん

日進市は、平成22年の国勢調査の数字をもとに算出された平均寿命が、愛知県内で男性が1位、女性が2位と県内トップレベルの平均寿命を誇ります。今後もこの誇るべき結果をさらに伸ばし、市民がいきいきとした生活を送ることができるように、市制20周年を記念して、健康のまちづくりをキーワードに子どもから高齢者まで、心身ともに健康なまちづくりをめざし、健康都市を宣言します。

◆宣言文の作成

どんな健康のまちを目指すのか、市民の皆さんとの協働によって作成します。

◆宣言イベントの開催

平成26年度は、第2次いきいき健康プランにっしん21の計画初年度にあたります。市民の皆さんが健康づくりに興味をもち取り組んでもらえるよう、様々な事業を通じて市は支援をしていきます。

